

日本聖公会 管区事務所だより

日本聖公会管区事務所

162-0805 東京都新宿区矢来町 65

電話 03 (5228) 3171 FAX 03 (5228) 3175

発行者 総主事 司祭 矢萩新一

「復活の主が共に」

管区事務所総主事 司祭 エッセイ 矢萩新一

「話し合い論じ合っていると、イエス御自身が近づいて来て、一緒に歩き始められた。」(ルカ24:15)

大斎節中の去る3月11日、東日本大震災5周年記念礼拝に参列しました。金根祥主教(大韓聖公会首座主教)が、冒頭の挨拶を日本語でされ、慰めと希望の説教をしてくださいました。お話を聴きながら、私たちは大きな自然災害を経験するとき「それは人間の罪の報いだ」と思いがちだが、決してそうではなく、そこに示される神さまの深いみ心に目を向け、嘆き悲しむ人々に寄り添い、語り継ぎ、時を要するけれども一人ひとりの様々な物語の中に、愛と信仰と希望を見出していくのだという思いを新たにしました。

2時46分からの打鐘と黙想の祈りでは、3名の被災体験をうかがいながら、私自身が壮絶な被災地にはじめて立った時の震える思い、被災者の方々に聞かせていただいたお話に涙したこと、今も当時のまま残されている原子力発電所事故災害地域の町並みや、ガイガーカウンターの警報音など、様々なことを思い起こしながら祈りを合わせていました。その翌日、「日本と原発」というドキュメンタリー映画を見て、やはり人類は核と兵器を扱ってはならない、神さまの創造された自然や人間を破壊する行為に他ならないと学びました。

アングリカンコミュニオン(全聖公会)の宣教の5指標には、「①神の国のよき知らせを宣言すること。②新しい信徒を教え、洗礼を授け、養うこと。③愛の奉仕によって人々の必要に応答すること。④社会の不正な構造を改革し、あらゆる暴力に反対し、平和と和解を追求すること。⑤被造物の本来の姿を守り、地球の生命を維持・再生するために努力すること。」とあります。これはイエスさまの宣教の業に参加する私たちが大切にしたい指標です。どれも欠けてはならない大事な事柄ですが、今、私たちは特に4番目と5番目の指標を再確認し、信仰者としての祈りと行動の必要性があるのではないのでしょうか。

□会議・プログラム等予定

(3月25日以降および
前回報告以降追加分)

3月

- 11日(金) 東日本大震災5周年記念礼拝〔仙台基督教会〕
- 18日(金) 宣教協議会提言実行デスク会議〔管区事務所〕
- 29日(火) 聖職試験委員会〔管区事務所〕
- 31日(木) 文書保管委員会〔管区事務所〕
- 31日(木) 主事会議小会議〔管区事務所〕

4月

- 6日(水) 管区会計監査〔管区事務所〕
- 12日(火) 第62(定期)総会第1回書記局会議〔管区事務所〕
- 13日(水) 管区人権担当者会〔管区事務所〕
- 14日(木) 常議員会〔管区事務所〕
- 18日(月) 日韓協働プロジェクト〔管区事務所〕
- 25日(月) 正義と平和委員会〔京都〕
- 29日(金) 日本聖公会青年大会実行委員会〔札幌キリスト教会〕

5月

- 10日(火) ウィリアムズ主教記念基金運営委員会〔立教大学〕
- 13日(金) 正義と平和委員会・沖縄プロジェクト会議(沖縄教区センター)
- 16日(月)～18日(水) 新任人権研修会〔北九州〕
- 18日(水) 管区人権問題担当者会〔小倉〕
- 19日(木)～23日(月) 韓国社会宣教スタディーツアー〔韓国〕
- 20日(金) 正義と平和委員会・憲法プロジェクト会議〔中部教区センター〕
- 26日(木) 文書保管委員会〔管区事務所〕

<関係諸団体等会議・他>

- 3月11日(金) ウィリアムズ神学館卒業式〔京都教区主教座聖堂〕
- 12日(土) 史談会〔管区事務所〕
- 17日(木) NCC 宣教会議準備会〔東

(次頁へ続く)

イエスさまの復活をお祝いする私たちは、同時にイエスさまを十字架に追いやった民衆でもあることを忘れてはなりません。そんな私たちであるにもかかわらず、神さまは、祝福し、福音の喜びに招いてくださっている、一緒に歩いてくださっていることを心から感謝し、その喜びを分かち合っていきたいと思います。

主のご復活をおよろこび申し上げます。

Alleluia

□各教区

京都

- ・ 聖職接手式 2016年4月9日(土) 13時
京都教区主教座聖堂(聖アグネス教会)
説教: 司祭 北山和民 執事接手: 志願者
聖職候補生 パウラ麓 敦子

大阪

- ・ J'sキャンプ@大阪・釜ヶ崎 Meet & Mission
〔主題聖句: どこにいるのか。(創世記3:9)〕
(宣教局教育部、大阪教区宣教部生涯学習委員会共催) 中学生高校生世代対象
日時: 3月28日(月) ~ 31日(木) 宿泊: 在韓基督教会館(KCC) 内容: 釜ヶ崎案内、炊き出し手伝い、夜回り、交流会ほか
<大阪教区・教務局だより2016年3月>

□神学校

聖公会神学院

- ・ 2016年度入学礼拝 4月5日(火) 14時
聖公会神学院諸聖徒礼拝堂 司式: 司祭 佐々木道人 説教: 司祭 中村邦介 入学予定者 上原成和(沖縄・特別聴講生)、荻原充(東京)

ウイリアムス神学館

- ・ 2016年度入学礼拝 4月6日(水) 11時 京都教区主教座聖堂(聖アグネス教会) 司式: 主教 高地 敬 説教: 司祭 吉田雅人 入学予定者: ルカ宮田裕三(神戸)、バルナバ永野拓也(神戸)

(前頁より)

陽町]

- 31日(木) (南)聖公会出版臨時株主総会〔管区事務所〕
- 4月5日(火) 聖公会神学院入学式〔聖公会神学院〕
- 6日(水) ウイリアムス神学館入学式〔京都教区主教座聖堂〕
- 7日(木) 同宗連総会〔港区・真福寺〕
- 7日(木) ~ 20日(水) 全聖公会中央協議会(ACC16)〔ザンビア/ルサカ〕
- 14日(木) 日宗連70周年記念式典〔築地本願寺〕
- 20日(水) NCC 常任委員会〔東陽町〕
- 22日(金) 日本聖公会社会福祉連名幹事会〔管区事務所〕
- 22日(金) 日キ連常任委員会・総会・講演会〔潮見〕
- 22日(金) ~ 29日(金) NCC 日独教会協議会〔在日本YMCA〕
- 23日(月) ~ 25日(水) NCC 日韓キリスト教「障害者」合同交流セミナー〔仙台基督教会〕
- 24日(日) NCC 日独教会協議会交流〔阿佐ヶ谷聖ペテロ教会〕

† 逝去者 霊魂のパラダイスにおける光明と平安を祈ります。

司祭 ステパノ米村路三(東京教区・退職)

2016年3月17日(木) 逝去(86歳)

司祭 テモテ佐藤光道(東北教区・退職)

2016年3月23日(水) 逝去(80歳)

□主事会議

第61(定期) 総会期第9回 3月17日(木)

<主な報告・協議>

1. NCC 盲人キリスト教伝道協議会への聖公会からの推薦理事に関して
4月より大森明彦司祭が人事異動となるため、後任として北海道教区の永谷亮執事をお願いすることを承認した。任期は2014年から3年任期の残任期間で、常議員会の承認を経て、NCCへ連絡を入れる予定。
2. 宣教協働者受入資金に関して
2022年までに必要な1,000万円を大斎克己献金資金(残高3,270万円)から繰り入れることについて、検討・協議の結果、承

認した。

3. 2015年11月25日に開催された常議員会決議により「訓練計画資金」「海外研修資金」「(旧)日本聖公会研修支援資金」を合併させ、新たな「日本聖公会研修支援資金」勘定を設立したことに伴い、新たな規程(案)を検討した結果、承認した。
4. 「管区事務所だより」に関して
- ① 5月は総会を控え、管区事務所内の準備業務が多忙になるため、総会報告記事掲載等も含め、6月/7月合併号として発行したい旨、提案があり承認した。
- ② 「聖公会新聞」の休刊に伴い、「管区事務所だより」の編集上、配慮すべき事項について、とりあえず、各教区の教区だよりや教務所だよりから、注目すべき記事を紹介するようにしたいとの意見があった。
- ③ 定期購読の案内を随時掲載し、読者層を広げて行きたい旨の意見があった。
5. 2015年度決算と2016年度決算予想、2017年度・2018年度の予算案に関して、財政主事より説明を受け確認した。

公 示

日本聖公会第62(定期)総会を下記のように招集します。

救主降生 2016年3月4日

日本聖公会 総会議長

主教 ナタナエル 植松 誠 ㊦

記

日時 2016年6月2日(木) 午前10時から
6月4日(土) 正午まで

場所 日本聖公会センター(東京教区牛込聖公会
聖バルナバ教会礼拝堂)

〒162-0805 東京都新宿区矢来町65番地
電話 03-5228-3171 (日本聖公会管区事務所)

以上

第62(定期)総会代議員

北海道	聖職	ベテロ大町信也	コルベ下澤 昌
	信徒	テトス久末隼一	ヨハネ津田武典
東北	聖職	ステパノ涌井康福	ステパノ越山哲也
	信徒	ヨハネ小貫晃義	バルナバ赤坂有司
北関東	聖職	エレミヤ・パウロ木村直樹	パウロ矢萩栄司
	信徒	マルコ谷川 誠	パウロ横川 浩
東京	聖職	パウロ佐々木道人	アンデレ中村邦介
	信徒	ヤコブ後藤務	テレジア黒澤圭子
横浜	聖職	イグナシオ入江 修	ヨハネ相澤牧人
	信徒	テモテ中林三平	ダビデ倉石 昇
中部	聖職	テモテ土井宏純	アンブロージア後藤香織
	信徒	クリスティース池住 圭	ヨハネ牛島達夫
京都	聖職	バルナバ小林聡	セシリア大岡左代子
	信徒	リリアン木川田道子	インマヌエル小野周一
大阪	聖職	施洗者ヨハネ山本 眞	ペテロ岩城 聡
	信徒	シラス長野泰信	テレジア鈴木光子
神戸	聖職	パウロ上原信幸	ヨハネ芳我秀一
	信徒	パウロ宮永好章	ジョージ大東正人
九州	聖職	ヨハネ李浩平	テモテ山崎貞司
	信徒	ヨセフ秋山献之	パウロ細川眞二
沖縄	聖職	イザヤ金汀洙	ベテロ高良孝太郎
	信徒	アンデレ富本盛彦	グレース宮里順子

第62(定期)総会期書記

書記長
司祭 片山 謙(横浜)
書記
司祭 松田 浩(横浜)
司祭 斎藤 徹(北関東)
司祭 渡部 明央(横浜)
執事 平岡 康弘(北関東)
執事 太田 信三(東京)



《人事》

北関東

2016年2月10日付人事異動を変更し、下記の異動を発令いたします。

(管区事務所だより第309号に掲載された以降の公示を掲載しています。)

司祭 ガブリエル西海雅彦	2016年3月31日付	立教学院出向を解く。
	2016年4月1日付	宇都宮聖ヨハネ教会牧師および栃木聖アルバン教会管理牧師に任命する。日光真光教会協力司祭を命ずる。
執事 ルカ平岡康弘	2016年3月31日付	宇都宮聖ヨハネ教会牧師補を解く。
	2016年4月1日付	前橋聖マッテア教会牧師補(定住)に任命する。
主教 ゼルバベル広田勝一	2016年3月31日付	川越基督教会管理牧師を解く。
	2016年4月1日付	前橋聖マッテア教会および新町聖マルコ教会管理牧師に任命する。

中部

司祭 テモテ土井宏純	2016年3月31日付	新生礼拝堂管理牧師の任を解く。
	2016年4月1日付	稲荷山諸聖徒教会管理牧師に任命する。
司祭 イグナシオ丁 胤植	2016年3月31日付	稲荷山諸聖徒教会管理牧師の任を解く。
	2016年4月1日付	飯山復活教会管理牧師に任命する。
司祭 フィデス金 善姫	2016年3月31日付	新生礼拝堂副牧師、飯山復活教会管理牧師の任を解く。
	2016年4月1日付	新生礼拝堂牧師に任命する。高田降臨教会協力司祭を委嘱する。
司祭 ダビデ相澤 晃(退)	2016年4月1日付	司祭アンブロージア後藤香織のもとで、愛知聖ルカ教会において、司祭ペテロ田中誠のもとで名古屋聖ヨハネ教会において、原則として主日礼拝等への協力を委嘱する。(任期1年)
司祭 ヨシュア鈴木光信(退)	2016年4月1日付	司祭パウロ松本正俊のもとで長岡聖ルカ教会において、司祭フィデス金善姫のもとで新生礼拝堂において、司祭イグナシオ丁胤植のもとで飯山復活教会において、司祭テモテ土井宏純のもとで稲荷山諸聖徒教会において、原則として主日礼拝等への協力を委嘱する。(任期1年)
司祭 パウロ西澤誠太郎(退)	2016年4月1日付	司祭テモテ土井宏純のもとで、稲荷山諸聖徒教会において原則として主日礼拝等への協力を委嘱する。(任期1年)
執事 ヨハネ大和田康司(退)	2016年4月1日付	司祭アンブロージア後藤香織のもとで、名古屋聖マルコ教会において原則として主日礼拝等への協力を委嘱する。(任期1年)
司祭 アンブロージア後藤香織	2016年4月1日付	学校法人柳城学院チャプレンとして派遣す

司祭 ペテロ田中 誠	2016年4月1日付	る。(任期1年) 学校法人柳城学院チャプレンとして派遣する。(任期1年)
司祭 マルコ箭野眞理	2016年4月1日付	学校法人柳城学院チャプレンとして派遣する。(任期1年)
京都		
主教 ステパノ高地 敬	2016年3月1日付	京都聖三一教会の管理を委嘱する。
司祭 ダニエル大塚 勝(退)	2016年3月31日付	ウイリアムス神学館主事職務協力の委嘱を解く。
司祭 マタイ出口 創	2016年3月31日付	金沢聖ヨハネ教会協働司祭の任を解く。
司祭 ヨシユア大藪義之	2016年3月31日付	京都聖三一教会牧師の任を解く。
	2016年4月1日付	願いにより休職を許可する。(病気療養のため)
<信徒奉事者認可> (上野聖ヨハネ教会)	2016年3月1日付 ルカ木村直史	任期1年
大阪		
主教 ヤコブ宇野 徹(退)	2016年4月1日付	司祭ジョージ林正樹のもと大阪聖パウロ教会において、嘱託司祭として主日勤務すること(第2主日説教)を委嘱する。(任期1年)
司祭 ダニエル山野上素充(退)	2016年4月1日付	司祭クリストファー奥村貴充のもと聖贖主教会において、嘱託司祭として主日勤務すること(第3主日)を委嘱する。(任期1年)
聖職候補生志願者 ヒューム ウイリアム ユーワン	2016年2月18日付	日本聖公会聖職候補生に認可する。
九州		
司祭 バルナバ壹岐裕志(退)	2016年4月1日付	管理牧師主教ルカ武藤謙一のもと、福岡ベテル教会嘱託司祭の勤務、及び佐賀聖ルカ伝道所協力司祭として勤務することを委嘱する。(任期1年)
司祭 パウロ濱生正直(退)	2016年4月1日付	主教ルカ武藤謙一の管理のもと、主教座聖堂付嘱託司祭として勤務することを委嘱する。(任期1年)
司祭 デビッド・A・コフリン(退)	2016年4月1日付	司祭ミカエル李相寅のもと、小倉インマヌエル教会嘱託司祭として勤務することを委嘱する。(任期1年)
沖縄		
司祭 マッテヤ高良孝誠(退)	2016年4月1日付	司祭ベネディクト高英敦のもと愛楽園祈りの家教会嘱託として勤務することを委嘱する。(任期1年)
主教 ダビデ上原榮正	2016年3月31日付	豊見城聖マルコ教会管理牧師の任を解く。
司祭 フランシス趙ジョンピル	2016年4月1日付	豊見城聖マルコ教会牧師を命ずる。

東日本大震災5周年記念礼拝報告

「忘れない」という思いのかたち

東北教区広報委員長 司祭 涌井康福

3月11日、奇しくも5年前と東日本大震災発生時と同じ金曜日に「忘れない」という思いを胸に175名の人々が東北教区主教座聖堂に集いました。東北教区では毎月11日の午後2時46分にかけて祈りの時を持っています。また毎年3月11日には記念礼拝をおこない、各地からご参列をいただいております。マスコミでも5年目ということで大々的に東日本大震災関連の特集が生まれ、私も視聴や録画に余念がありませんでした。しかし「あれから何年」という思いは被災された方たちにとっては、もしかしたら違和感のある言葉なのかもしれません。「あの日から何年なんて、私たちには関係ない」、そういう思いがあると何人もの方から伺っています。私たちは決して被災された方々と同じ思いにはなれないのかもしれない。

それでも「忘れない」という思いの一つの形として日々の祈り、毎月11日の祈り、年ごとの3月11日の礼拝を続けています。

5周年の礼拝を準備していく中で、大韓聖公会首座主教のキム・グンサン主教から「ぜひ説教をさせてほしい」というお申し出がありました。説教者は日本聖公会のしかるべき方にと誰もが考えていましたので驚きの念はありましたが、あまりに熱心なご希望に説教をお願いすることになりました。当日の説教を突然日本語で語りだされたのには驚きました。何とか日本語で思いを伝えたいと願われたのでしょうか。しかしすべてを日本語でするのは時間的にも難しく途中から通訳を通してのものとなりましたが、何度も被災地に足を運ばれ、涙を流して祈っておられた姿を思



東日本大震災記念聖餐式・仙台基督教会 (写真提供 東北教区 教務所・及川真菜氏)

い出しました。説教の全文は東北教区報に掲載の予定ですので、ぜひそちらをご覧くださいと思います。

聖餐式に続いて2時46分の祈りと黙想の時が持たれました。この中で被災された磯山聖ヨハネ教会の代表の方、いまだに仮設住宅での生活を余儀なくされている仙台基督教会信徒の方、支援活動で関わりのできた福祉施設の方からのお話を聞くことができました。皆さん5年という時間だけでは測れない思いを持ちながら、それでも流れる時の中でできること、しなければならぬことに懸命に取り組んでこられた思いを語っていただきました。

5年という時は、確かに一つの区切りとして捉

えられるのかもしれませんが。しかし私たちが感じるのと違う「時の流れ」の中を歩んでいる人たちがまだまだたくさんおられる。そんな思いを新たにされたひと時でもありました。その方たちとどう「いっしょに歩く」ことができるのか。それはこれからも私たち東北教区の課題です。「いっしょに歩こう!プロジェクト」「だいに・東北」と続いてきた活動は終了しました。そのあと東北教区の「東日本大震災支援室」が活動を継続しています。規模は小さくなりましたが、スタッフだけでなく全教会が「おほえ続ける」東北教区の宣教課題として取り組んでいきます。どうぞこれからも被災された方々のためにお祈りとご支援をよろしく願いいたします。



東日本大震災を覚えて

この祈りは3月11日に近い主日、3月11日の記念礼拝、祈り等において、およびその後も用いられることを意図して作成されたものです。

慈しみ深い神、慰めの主よ、今、わたしたちは東日本大震災を覚えて祈ります。どうか、被災地にある人、避難生活を強いられている人、特に日本社会の中で生きることの困難に苦しむ人、将来の希望を見い出せない人（ことに——）を覚えてください。

また原子力発電所事故により、失われた自然と人々の生活を覚えます。故郷を離れて生活する人、危険な作業に従事する人とその家族をお守りください。そして政治と社会に責任を持つ人々に正しい道を歩ませてください。

わたしたちもまた、これらの苦難をつねに覚えることができますように。日本聖公会の被災者支援の働きを強めてください。そしてわたしたちも思いと力を合わせて、共に歩み続けることができるように導いてください。

いのちの源である主よ、東日本大震災のすべての犠牲者、そして世界各地の災害と争いの中で生命を失った人々を、あなたのみ腕の中に抱き、永遠の安らぎを与えてくださいますように。

主イエス・キリストのみ名によってお願いいたします。 アーメン

（日本聖公会主教会 2016年2月一部改訂）

2016年

日本聖公会GFS総会を開催

— 100周年記念研修会を見すえて—

総会担当・東京教区GFS支部長 アンナ水谷治子

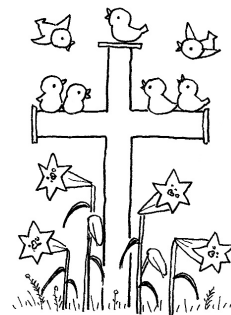
2月11日、京都教区教務所会議室で日本聖公会GFSの総会が開かれました。会長の与那嶺あさ子姉が議長指名したのは知花阿佐子姉。本部役員の他には、北海道と東京、京都からの3名のジュニアを含む各教区議員が出席しました。まずナショナルチャプレン代理の西平妙子司祭の開会の祈りに続き、京都教区の高地主教のお勧めがあり、今年度から本部となる大阪教区の磯主教からお話の後、総会が始まりました。

諸報告の後、今回は話し合うべきことがたくさんあり、真剣な討議がなされました。特に100周年を記念して、京都でこの夏開かれる研修会については、テーマ：「神さまにつながる光-時を超えて」 場所：ザ・パレスサイドホテル（7/31～8/2）と、100周年礼拝と記念のレセプションには、前日の予備会議では調整できませんでしたが、古くからGFSのために働いてくださった姉妹たちをお迎えすることを考えて、8/1（月）のお昼前から軽食をとりながらのホテルでのレセプション、記念礼拝は京都聖アグネス教会で13時からということに決定しました。また記念誌のダイジェスト版作成については承認され、礼拝に与ったすべての方にお渡しするというのも決まりました。また、ワールドプロジェクトは本部会長のもと、東京教区GFSが主に東北教区をサポート、会計は九州教区、という分担になりました。

2015年度日本聖公会GFSの決算も承認され、緊迫した財政に鑑み、GFS新聞は3回に減らし、そのお金を他に回すという予算案も承認され、また日本聖公会GFSのホームページを作成すること（東京教区ジュニアリーダー発議）も決まりました。各教区の役割分担もスムーズ

に決まり、最後に沖縄教区の与那嶺あさ子姉から、大阪教区の若手リーダー岡墻歩美姉への会長交代式があり、磯主教の前で会長の十字架と、日本聖公会GFSのバナーが手渡されました。そして新しい会長からの挨拶があり、総会出席者全員で輪を作りみんなで力を合わせて会長を支えるようにお祈りし、磯主教から祝福を受けました。日本聖公会GFS 100周年を迎えるこの年、29歳の若い岡墻歩美会長が誕生したことで一気に若返り、日本聖公会GFSの未来が開けたような総会となりました。

最後になりましたが、朝早くからずっと見守ってくださった磯主教と、神戸GFS上原チャプレン、お忙しいなか駆けつけてくださった大阪GFS原田チャプレン、アメリカでの研修から帰ったばかりでナショナルチャプレン代理をしてくださった西平司祭。なによりもこの3年間、大変困難な状況のなかお働きくださった与那嶺会長と沖縄教区GFS、会計の大阪教区GFS、総会の準備の京都教区GFS、その他の教区GFSのすべての方々に感謝申し上げます。みなさまのおかげで無事に総会ができました。ありがとうございました。



世界の聖公会の動向

—フィジー諸島とネパールの被災地から—

渉外主事 司祭 ポール・トルハースト

○ サイクロン被害を受けたフィジーの教会の為に献金と祈りを

サイクロンにより甚大な被害を受けたフィジー諸島の人びとの為にアオテアロア・ニュージーランド・ポリネシア聖公会の災害支援団体であるオーストラリア聖公会のAMB (Anglican Missions Board) の総責任者が募金と祈りを全聖公会のメンバーを呼び掛けている。

AMBの責任者の一人であるコレオーバ氏によると、現地の聖公会とメソジスト教会が協力して貨物列車2両分の緊急支援物資を準備している。緊急に必要な物資は衣類、テント、寝具、飲料水などである。次のステップは支援モードで、更に復興モードに移行する。

Anglican Alliance (全聖公会の災害緊急支援組織) が全聖公会の支援対応をまとめているが、現地責任者のコレオーバ氏によるとどのような支援でも大歓迎であるが、ことに献金とお祈りが一番貴重である。

緊急支援や復興支援に携わる人々の為に祈りください。また、気候変動による更なるサイクロン被害がもたらされると案じられる太平洋にある島々の人たちの為に祈りをお願いしたい。

○ ネパールの地震被害：地元からの状況報告

死者9千人、800万人の被災者を出した大地震後9か月が経過したにもかかわらず、復興活動の進展はほとんどみられないとの報告が南東アジア管区、シンガポール教区のネパール宣教

地域から報告されている。

カトマンズのような都市の住人は何とか毎日の生活をしているが、山岳地域の住人で聖公会の信徒は未だに仮設テントやそれに近い仮設設備で生活している。この人々は2回の大きな地震と466回の余震を乗り越えることが出来た。更に今までで最も厳しい過酷な季節風のシーズンをしのぎ、ネパールの歴史始まって以来最も厳しいと思われるヒマラヤの冬を乗り越えつつある。このような過酷な状況下でも人々は神様を信じ礼拝を持つことで強い信仰を維持している。その証拠に新たに700名以上の人びとが2015年12月中に教区主教から按手を受けた。

大地震後ネパールの教会の信徒数は33.3%増加し、これに対応するために近い将来教会を15か所増やす予定である。

地震により山岳地帯の多くの医療機関が破壊されたので、他の宗教を信じている住人は教会の信徒による祈りに頼る以外手段がなく、結果として祈りによる癒しを経験して信仰に入る人が増加している。

更にシンガポール教区の緊急支援機関であるACROSSは、住人に素晴らしい治療をすることができている。

キチュット村の住人の一人でキリスト教に改宗した人曰く、「現地の人の支援はないが、あなたたち(おそらくシンガポールから支援のために来た人達のこと)は数千マイルも離れているところから米、寝具、衣料品などを持参して支援してくれた。これほどの愛を受けたことは初めてである。」と。



2016年 BSA 研修旅行

京都 C. M. ウィリアムス主教を訪ねて
& 同志社大学訪問

5月16日(月)

東京駅・新幹線のぞみ→京都駅(駅構内宿泊・ホテルグランヴィア京都) 荷物預→ウィリアムス神学館(吉田館長・講話と施設案内)→聖アグネス教会(京都教区主教座聖堂・鈴木恵一執事)→懇親会(於:ザ・パレスサイドホテル TEL:075-415-8887)→宿舎:ホテル・グランヴィア京都(TEL:075-344-8888)

5月17日(火)

朝食→若王子神社坂上(ウィリアムス主教追墓碑・元田作之進)訪問。新島襄・山本覚馬(記:勝海舟)ほか 同志社墓地 註:急坂の為、不参加者は「哲学の道」散策か、霊山歴史館(幕末維新ミュージアム館)→今出川同志社大学訪問 ハリス理科学館(ウィリアムス主教教授記録) 礼拝堂(同大:水谷理事長)→昼食・寒梅館(レストラン ウィル) 案内:川端正昭氏(同大OB・元府警 藍綬褒章受章者、京都府レスリング協会、同志社レスリング部OB会長)

16:00 自由解散→宿舎

京都観光バス夜の部(要予約)

京焼・五雲陶苑(第3代 前田喜代範 日展会員・同大レスリング部監督)

5月18日(水)

朝食→JR・地下鉄→大阪・川口基督教会(講話・岩城聰司祭 TEL:06-6585-5061)→京都→フリータイム→京都駅・新幹線のぞみ→東京
17:30 頃 解散

★お問い合わせは、研修担当理事:倉石 昇
TEL/FAX:047-431-9643 まで。

2017年教会音楽祭の
テーマ曲歌詞を募集 ♪

未定ですが、決まり次第お知らせします。

今回のテーマは「心ひとつに～争いから交わりへ～」。テーマがイメージを限定することなく、むしろあらゆる状況、思いを喚起するものであって欲しいと考えました。神の民として集い、心をひとつに、共に賛美の時を迎えられるよう準備して参ります。

このテーマに即した歌詞を募集します。

(曲については採用された歌詞を発表してから募集を開始します。)

審査は、教会音楽祭実行委員会にて行います。応募要件は、以下の通りです。

■ 応募要件:

1. 1人1作品とし、未発表のものに限る。
2. 歌詞の題は「心ひとつに」とすること。
3. 応募作品が採用候補作品とされた場合でも、作者と相談の上、教会音楽祭実行委員会で添削する場合がある。
4. 入選作品の著作権は、教会音楽祭実行委員会に帰属するものとする。
5. 応募の際、いずれかの教派・教会に所属している場合は、教派・教会名を明記すること。

尚、採用作品は広く教派を超えて自由に用いられるものであることを理解の上、ご応募ください。

■ 提出先:

〒105-0011 東京都港区芝公園3-6-18

日本聖公会 東京教区事務所内

礼拝音楽委員会(「教会音楽祭 歌詞応募」と明記のこと)

■ 応募締切:

2016年8月1日(月)〔消印有効〕

■ 発表:

採用作品の作者には8月末日までに直接通知します。一般には「曲募集」をもって発表にかえさせていただきます。

■ 問い合わせ先:

各教派の教会音楽祭担当委員、または「教会音楽祭」ホームページ <http://cmf.holy.jp/>

2017年(来年)の6月、第33回教会音楽祭の開催を予定しています。日時、場所等の詳細は

2016年3月27日

内閣総理大臣 安倍晋三様
法務大臣 岩城光英様

死刑執行抗議

2016年3月25日、大阪拘置所において鎌田安利さん、福岡拘置所において吉田純子さんに対して死刑が執行されたことに対し、強い憤りをもって抗議します。

日本聖公会は、イギリス国教会の流れをくむキリスト教の一教派で、世界に一億人の信徒を有しております。これまで、教派を超えて多くのキリスト者と共に世界の人々の正義と人権を守るため、さまざまな努力を重ねて来ております。

私たちはこれまで、キリスト教の信仰に立って、神によって創造された全ての人々の生命とその尊厳を守るために、死刑制度の廃止を強く訴えて参りました。

死刑制度は「残虐な刑罰」を禁じた日本国憲法第36条、及び「何人も拷問または残虐な、非人道的なもしくは屈辱的な取り扱いもしくは刑罰を受けることはない」と定めた、世界人権宣言（第5条）の精神に反するものです。刑罰として命までも奪う権利は国家にも、誰にも与えられていません。更に死刑は、社会から犯罪者の排除と抹殺を意味し、悔い改めと更生への道を国家が奪うものであり、誤判により無実の人の命を奪う可能性も持っています。1989年の国連総会では「死刑廃止国際条約」が採択され、1991年に発効しております。国連規約人権委員会では、2008年に日本政府に対して「国内の世論調査に関係なく死刑制度の廃止を検討すべき」との勧告を出しております。死刑制度の存置は国際社会の流れに逆らうものでもあり、日本が死刑制度をこれからも維持していこうとする意思の現れであり、同時に人権に対する日本の後進性を表すものです。

更に、2009年に始まった裁判員制度の裁判員経験者からは「究極の判断を求められるのに死刑の執行に関する情報が明らかになっていない」という声上がり、一部の経験者たちからは、死刑の執行を停止したうえで積極的な情報公開を行い、国民の議論を促すよう求める要望書が法務省に提出されております。

死刑が犯罪の抑止力にはなり得ないことは、これまで出された統計でも明白です。死刑という恐怖心によって犯罪を抑止しようとするのではなく、生命の尊厳を重んじる心を育てる教育こそが必要であり、冷静な議論を尽くすことが今、私たちに求められていると考えます。

わたしたちは、神より与えられたすべての人の生命と尊厳、そして人権を守るキリスト教信仰に立って、一日も早い死刑制度の廃止を求めます。岩城法務大臣には、是非とも多くの死刑制度廃止を訴えるわたしたち国民の声に耳を傾け、内閣及び国会の場において、死刑制度廃止に向け努力されますように、また、その法改正がなされるまで、決して死刑の執行をしないよう強く要請いたします。

日本聖公会正義と平和委員会
委員長 主教 洪澤 一郎

北関東教区からのお知らせ

① 聖バルナバミッション設立 100年記念ウィーク

2016年はコンウォール・リー女史が草津に入って「聖バルナバミッション」を設立した100年の記念の年です。北関東教区聖バルナバミッションとリー女史記念事業推進委員会では、この記念すべき年に当たり以下のようなイベントを企画いたしましたので、ぜひおいで下さい。なお少人数なら宿泊もできます。

聖バルナバミッション設立 100年記念ウィーク
2016年5月1日(日)～7日(土)

1日(日) 講演会 聖バルナバミッションについて
(松浦 信司祭のお話)

2日(月)・6日(金)

10時～(午前の部)・14時～(午後の部)

フィールドトリップ/旧湯之沢地区、栗生楽泉園、重監房資料館等

3日(火) 14時～ みんなで歌おう♪ 聖マーガレット館

4日(水) 11時～ 北関東教区信徒一致の日合同礼拝 栗生楽泉園 中央会館:説教 広田勝一主教 礼拝後画像によるお話「コンウォール・リー女史の歩んだ道から学ぶもの」

お話 菊池邦杏

5日(木) 10時～ 草津聖公会霊園訪問

7日(土) 11時～ 記念週間閉会礼拝

お問い合わせ:

聖バルナバミッションとリー女史記念事業推進委員会: 菊池邦杏 電話: 049-223-1707

もしくは、草津聖バルナバ教会: 司祭 松浦 信 電話: 0279-88-3640

聖バルナバミッション設立 100年記念ウィーク
特設ブログ <http://stbarnabasm100th.seesaa.net/>

② 注釈付き復刻版「コンウォール・リー女史の生涯と偉業」発行のお知らせ

昭和29年12月に貫民之介司祭著として発行されたものですが、今回は草津委員会の菊池邦杏編集、中村茂監修によって注釈付きの復刻版が発行されました。

1冊1,000円(送料別)です。北関東教区教務所で取り扱っています。10冊以上ですと送料をサービスします。



日本聖公会管区事務所ホームページ <http://www.nskk.org/province/>

☆「管区事務所だより」についての要望・寄稿などをメールでお寄せください。